

自 己 点 検 表

1. 教員個別表

フリガナ スズキ ヨシノ 氏 名 鈴 木 寿 則	職 名 教授 人間学部健康栄養学科	取 得 学 位 博士（医学） （大学名） 東北大学 （取得年月） 2005 年 3 月 25 日
--	--------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
【教育内容・方法の工夫】		
・教養共通科目「消費生活論」の教育実践	2023 年-現在	人間学部学生を対象として、民法の解釈およびこれまでの判例を中心とし、現在の消費者としての権利および義務について授業を行った。さらに、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。
・教養共通科目「環境科学」の教育実践	2022 年-現在	人間学部学生を対象として、環境問題および環境保健を中心とした授業を行った。さらに、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。
・教養共通科目「健康科学」の教育実践	2022 年-現在	人間学部学生を対象として、医学概論および公衆衛生学を中心とした授業を行った。さらに、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。
・管理栄養士国家試験受験資格の指定科目「公衆衛生学」の教育実践	2010 年-現在	健康栄養学科の学生を対象として、教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。
・管理栄養士国家試験受験資格の指定科目「健康管理概論」の教育実践	2010 年-現在	健康栄養学科の学生を対象として、教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。
・管理栄養士国家試験受験資格の指定科目「社会保障論（2017 年度より現科目名に変更）」の教育実践	2010 年-現在	健康栄養学科の学生を対象として、教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。
・食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格（任用資格）の指定科目「公衆衛生学」の教育実践	2010 年-現在	（上記「公衆衛生学」と同上）
・食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格（任用資格）の指定科目「衛生	2010 年-現在	健康栄養学科の学生を対象として授業を行った。教科書を中心に板書による

法規（2017 年度より現科目名に変更）」の教育実践		講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。
・保育士資格の指定科目「社会福祉学」の教育実践	2012 年-現在	人間発達学科の学生を対象として授業を行った。なお健康栄養学科およびグローバル・スタディーズ学科の学生は共通科目とし授業を行った。教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。
・社会福祉士国家試験受験資格の指定科目「社会保障論Ⅰ」の教育実践	2017-2019 年	心理福祉学科の学生を対象として授業を行った。教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を2019 年度まで行った。
・社会福祉士国家試験受験資格の指定科目「社会保障論Ⅱ」の教育実践	2017-2019 年	心理福祉学科の学生を対象として授業を行った。 教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を2019 年度まで行った。
・介護福祉士国家試験受験資格の指定科目「社会保障論Ⅰ」の教育実践	2017-2019 年	（上記「社会保障論Ⅰ」と同上）
【作成した教科書、教材、参考書】		
・Active Aging 健康管理学 –QOL の向上を目指して–	2025 年 4 月	第 3 章「健康づくり施策」を執筆した。そこでは、疫学について、初学者でも理解しやすいような内容にし、また、令和 5 年よりはじまった「健康日本 21（第 3 次）」の理念と方向性について述べた。
・社会保障〔第 2 版〕【新・社会福祉士シリーズ 12】（弘文堂）	2025 年 2 月	第 7 章「医療保険制度の現状と課題」を執筆した。医療保険制度の改正、健康増進としての公衆衛生について、最新の知見を述べた。
・『健康・栄科学シリーズ 社会・環境と健康 2024-2025』（南江堂）	2024 年 3 月	第 8 章「地域保健」を執筆した。そこでは、地域保健活動の概要、歴史、組織、地域保健法の概要、地域における健康危機管理について述べた。
・『新編 衛生・公衆衛生学』（アイ・ケイコーポレーション）	2024 年 3 月	第 2 章「地域保健」を執筆した。そこでは、保健・医療・福祉における行政の仕組みと法規、地域保健と健康危機管理について述べた。
・『新・社会福祉士シリーズ 12 社会保障』（弘文堂）	2023 年 3 月	第 7 章「医療保険制度の現状と課題」を執筆した。そこでは、わが国の医療保険制度の構造、医療と健康増進としての公衆衛生について述べた。

・『衛生・公衆衛生学 2023』(アイ・ケイコーポレーション)	2023 年 3 月	衛生法規(第 3 章)と地域保健(第 9 章)について解説した。
・『衛生・公衆衛生学 2022』(アイ・ケイコーポレーション)	2022 年 3 月	衛生法規(第 3 章)と地域保健(第 9 章)について解説した。法令について加筆・修正をして解説するとともに、市町村における保健活動についてのアプローチについて詳細に述べた。
・『健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 2022-2023 改訂第 7 版』(南江堂)	2021 年 4 月	第 8 章「地域保健」を執筆した。新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、保健所の役割および機能について述べ、市町村の保健活動について解説した。
・『Active Aging 健康管理学－予防医学の視点から－』(八千代出版)	2021 年 3 月	第 3 章「健康づくり施策」を執筆した。そこでは、疫学について、初学者でも理解しやすいような内容にし、また、最新の問題として、健康危機管理としての新型コロナウイルス対策について述べた。
・『衛生・公衆衛生学 2021』(アイ・ケイコーポレーション)	2020 年 3 月	衛生法規(第 3 章)と地域保健(第 9 章)について解説した。平成 30 年度の管理栄養士養成コア・カリキュラムに内容を沿わせ、第 3 章の法規では直近改正の内容を盛り込み、第 9 章の地域保健では新型コロナウイルスに対する地域保健の現状および役割について加筆した。
・『健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 改訂第 6 版』	2020 年 3 月	第 8 章「地域保健」を執筆した。平成 30 年度の管理栄養士養成コア・カリキュラムに内容を沿わせ、地域保健における保健所および市町村保健センターの役割について解説した。
・『衛生・公衆衛生学 2020』	2019 年 3 月	衛生法規(第 3 章)と地域保健(第 9 章)について解説した。平成 30 年度の管理栄養士養成コア・カリキュラムに内容を沿わせ、関連法規については直近改正の内容を盛り込み、地域保健では健康危機管理等について加筆した。
・『Active Aging 健康管理学』(中国語翻訳・出版)	2019 年 3 月	2017 年 4 月に発行した『Active Aging 健康管理学』を中国語に翻訳し科学出版社(北京)より発行した。
・日本栄養改善学会「平成 30 年度管理栄養士専門分野別人材育成事業(コア・カリキュラム検討事業)」	2019 年 2 月	当該報告書「B 社会と栄養」を担当した。管理栄養士養成施設におけるカリキュラムの在り方及び内容等について委員として、検討・執筆し、今後の管理栄養士養成に係るカリキュラムの在り方について報告書として発表した。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
【2024(令和6)年度】						
Active Aging 健康管理学 – QOL の向上を目指して–	共著	2025 年 4 月	八千代出版	岡田悦政、 他.	岡田悦政 編 担当箇所は単著	27-44
NDB データの集計と利用の提言に関する検討	共著	2025 年 3 月	厚生労働科学研究費補助金 (政策科学総合研究事業 (統計情報総合研究事業)) 傷病統計におけるNDBデータの 利用可能性の検証に関する研究 報告書	川戸美由紀、 村上義孝、三 重野牧子、上 原里程、鈴木 寿則、野田龍 也、筒井杏 奈、橋本修 二.		7-14
NDB データの集計と利用の提言に関する検討 – 関係 資料の収集・整理 –	共著	2025年3月	厚生労働科学研究費補助金 (政策科学総合研究事業 (統計情報総合研究事業)) 傷病統計におけるNDBデータの 利用可能性の検証に関する研究 報告書	川戸美由紀、 村上義孝、三 重野牧子、上 原里程、鈴木 寿則、野田龍 也、筒井杏 奈、橋本修 二.		117-129
みやぎのデータヘルス推進事業 データ集 データからみ たみやぎの健康 令和6年度版	単著	2025年3月	宮城県保健福祉部			p1-253
データから見たみやぎの健康 概要版 – 令和6年度 版 –	単著	2025年3月	宮城県保健福祉部			1-18

社会保障〔第2版〕【新・社会福祉士シリーズ12】	共著	2025年2月	弘文堂	阿部裕二・熊沢由美、他.	阿部裕二・熊沢由美 編 担当箇所は単著	113-142
【2023（令和5）年度】						
・みやぎのデータヘルス推進事業 データ集 データからみたみやぎの健康 ―令和4年度版―	単著	2023年6月	宮城県保健福祉部			1-172
・データから見たみやぎの健康 概要版 ―令和4年度版―	単著	2023年6月	宮城県保健福祉部			1-18
・大刀洗町における保健事業と介護予防一体的実施に関する研究 ―庁内連携推進の試みについて―	共著	2024年3月	聖マリア学院大学紀要 Vol.15,2024	田中貴子、真崎直子、鈴木寿則、他		35-44
・『健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康2024-2025』	共著	2024年3月	南江堂	吉池信男、他	吉池信男、他2人 担当箇所は単著	267-276
・『新編 衛生・公衆衛生学』	共著	2024年3月	アイ・ケイコーポレーション	山本玲子、他	山本玲子、熊谷優子 担当箇所は単著	18-36
【2022（令和4）年度】						
・『衛生・公衆衛生 2023』	共著	2023年3月	アイ・ケイコーポレーション	山本玲子、他		25-37、 140-145
・『新・社会福祉士シリーズ12 社会保障』	共著	2023年3月	弘文堂	阿部裕二、他	阿部裕二、熊沢由美 担当箇所は単著	113-140
・データから見たみやぎの健康 データ集 ―令和3年度版―	単著	2022年6月	宮城県保健福祉部			1-161
・データから見たみやぎの健康 概要版 ―令和3年度版―	単著	2022年6月	宮城県保健福祉部			1-18

【2021（令和3）年度】						
・『衛生・公衆衛生学 2022』	共著	2022 年 3 月	アイ・ケイコーポレーション	山本玲子、他	山本玲子 担当箇所は単著	25-36 140-145
・『健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 2022-2023 改訂第7版』	共著	2022 年 3 月	南江堂	辻一郎、他	辻一郎、吉池信男	249-257
・『Active Aging 健康管理学－予防医学の視点から －』（第3章を執筆）	共著	2021 年 4 月	八千代出版	岡田悦政、他	岡田悦政	26-42
【2020（令和2）年度】						
・『衛生・公衆衛生学 2021』	共著	2021 年 3 月	アイ・ケイコーポレーション	山本玲子、他	山本玲子	25-36 140-145
・令和2年度 保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業	共著	2021 年 3 月	大分県福祉保健部国保医療課	NEC 第一官 公ソリューション 事業部	第2章および第3章は 単著	5-20 21-30

翻訳

翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月（西暦）	発行所、発表雑誌 （巻・号数）等の名称	共訳者名 （共訳の場合）	監修者名と当該訳者 数（監修訳書の場合）	該当頁数
（なし）						

学術研究発表

発表テーマ	発表年月（西暦）	発表場所
・睡眠と働きがい及び生産性に関する実態調査	2024 年 7 月	第 73 回東北公衆衛生学会（口頭共同発表）
・睡眠と働きがい及び生産性に関する実態調査	2024 年 5 月	全国健康保険協会 第 10 回協会けんぽ調査研究フォーラム（ポスター共同発表）
・福岡県におけるNDBを用いた高血圧該当者と生活習慣の基礎	2024 年 1 月	第 12 回日本公衆衛生看護学会学術総会（ポスター共同発表）
・地域の健康課題への新たな取り組みと評価の視点	2023 年 10 月	第 82 回日本公衆衛生学会シンポジウム（単独口頭発表）
・睡眠不調における生活習慣病及び医療費等に関する業態区分別分析	2023 年 10 月	第 82 回日本公衆衛生学会学術総会（ポスター共同発表）

・生活習慣病の既往がない者における食事パターンと受診行動および医療費の関連	2022 年 10 月	第 81 回日本公衆衛生学会総会（口頭共同発表）
・災害時要援護精神障害者への支援の必要量の推計と推計方法の検討	2022 年 10 月	第 81 回日本公衆衛生学会総会（ポスター共同発表）
・大分県の産・官・学連携による保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業	2019 年 10 月	第 78 回日本公衆衛生学会総会（単独口頭発表）

Ⅱ 所属学会		
学会名	役職	入会年月（西暦）
日本公衆衛生看護学会		2023 年 10 月（現在に至る）
日本公衆衛生学会		2001 年 6 月（現在に至る）
日本疫学会		2001 年 6 月（現在に至る）
宮城県公衆衛生学会		2010 年 6 月（現在に至る）

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究（過去5年間）				
助成機関名	助成を受けた年度 （西暦）	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 （円）
宮城県	2025 年	集計分析業務	令和 6 年度みやぎのデータヘルス推進事業集計・分析業務	
厚生労働省科学研究費補助金	2025 年	政策科学総合研究事業（統計情報総合研究事業）	傷病統計における NDB データ利活用可能性の検証に関する研究班	
厚生労働省科学研究費補助金	2024 年	政策科学総合研究事業（統計情報総合研究事業）	傷病統計における NDB データ利活用可能性の検証に関する研究班	
基盤研究（C）（一般）	2024 年	高齢者看護学および地域看護学関連	都市型準限界集落等地域のソーシャルキャピタル醸成推進プログラム開発と社会実装研究	

宮城県	2023 年	集計分析業務	令和 5 年度みやぎのデータヘルス推進事業集計・分析業務	
基盤研究（C）（一般）	2023 年	高齢者看護学 および地域看護学 関連	都市型準限界集落等地域のソーシャルキャピタル醸成推進プログラム開発と社会実装研究	
宮城県	2022 年	集計分析業務	令和 4 年度みやぎのデータヘルス推進事業集計・分析業務	
基盤研究（C）（一般）	2022 年	高齢者看護学 および地域看護学 関連	都市型準限界集落等地域のソーシャルキャピタル醸成推進プログラム開発と社会実装研究	
宮城県	2021 年	集計分析業務	令和 3 年度みやぎのデータヘルス推進事業集計・分析業務	
N E C	2020 年	共同研究	医療費適正化に向けたデータ分析についての共同研究	
大分県	2020 年	分析業務	令和 2 年度 産・官・学連携保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業	
宮城県	2020 年	集計分析業務	令和 2 年度みやぎのデータヘルス推進事業集計・分析業務	
N E C	2019 年	共同研究	宮城県富谷市及び大分県の医療費適正化に向けたデータ分析についての共同研究	
大分県保険者協議会	2019 年	分析業務	令和元年度 保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業	
宮城県	2019 年	集計分析業務	令和元年度みやぎのデータヘルス推進事業データ集計・分析業務	

3. 特記事項

【委員等】

- ・厚生労働省 管理栄養士国家試験委員（2021（令和 3）年、2022（令和 4）年、2023（令和 5）年、2024（令和 6）年）
- ・日本がん登録協議会 外部監査委員（2021 年～現在）
- ・警察共済組合宮城県支部 健康管理アドバイザー（2020（令和 2）年～現在）
- ・富谷市健康づくり推進協議会委員（2018（平成 30）年 6 月～現在）
- ・全国健康保険協会宮城支部 健康づくり推進協議会委員（2014（平成 26）年 6 月～現在）